

がん看護専門看護師のキャリアパス

学生時代にがん患者さんを担当した経験から、がん看護に携わりたいと外科病棟を希望。手術や化学療法、放射線療法、緩和ケアを受ける患者・家族への支援を行う中で、自分の知識向上によって、よりよい看護ができるのではないかと思い、大学院進学を希望。師長や病棟スタッフ、CNSに相談し、背中を押していただきました。

復職後は血液内科病棟へ配属。多職種と積極的に連携をとり、患者家族の治療選択の意思決定や療養生活の質向上に取り組みました。倫理的課題に向き合うことも多く、病棟スタッフや他職種とともに、個別性に合わせてよりよい選択ができるよう支援を行いました。がん看護相談の担当として組織横断的な活動も開始しました。

現在

専門看護師
認定

大学院進学

入職

大学院在学中は、がん看護に長けている先生方の下、他施設や他専門分野の同期生と多くの議論を交わし、様々な学びを得ました。現在でも相談し合えるつながりを築くことができたのは大きな財産です。臨床経験を積んだあとの授業や実習は自分を見つめ直す機会となり、多方向からの視点を学ぶきっかけにもなりました。

産育休を経て、外来化学療法室へ復職。部署スタッフの協力のもと、仕事と子育ての両立に苦戦しながら活動しています。外来化学療法を受ける患者さんがそれぞれの生活を安心して営めるよう、また、がん看護相談の担当として、主に血液内科外来の患者さんご家族への支援を行っています。